



広島県が目指す
乳幼児の姿

遊び 学び 育つ ひろしまっ子!

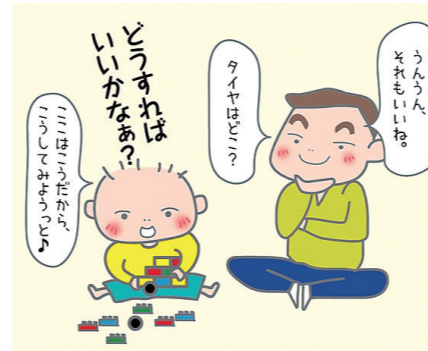
「オール広島県」で乳幼児期の教育・保育の充実を図るための拠点として、「広島県教育委員会乳幼児教育支援センター」があります。その取組を紹介します。

Q 広島県教育委員会乳幼児教育支援センターは、何をするとところ?

A 乳幼児期の教育・保育の充実のための施策を総合的に推進する拠点です。「遊びは学び」という乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方について、県内全ての国公立・私立の幼稚園・保育所・認定こども園等(以下「園・所等」)や、家庭・地域の理解を図り、「オール広島県」で県内全ての子どもたちの「5つの力」の育成に取り組んでいます。

Q 「遊びは学び」とは、どういうこと?

A 子供にとって遊びや日々の生活の全てが「学び」です。「遊び」は子供にとって探究の宝庫。遊びの中で、発見すること、体を動かすこと、創造すること、失敗を乗り越えること、人とかかわることが、主体的に学び続けることにつながります。



乳幼児期は「探究の芽」を育む重要な時期。生涯にわたって主体的に学び続けるための基礎が培われます。

遊びは学び 木の实を見つけた子供たち。そのときどうする?

- うごく力** 木の实を発見し、落ちてくる枝を拾って思いっきり何度も投げています
- 人とかかわる力** 2人で協力して取ろうとしますが届きません
- 考える力** うまくいかなくても諦めず、考えを巡らして、様々な方法を試しています
- やりぬく力** 長い枝をひっかけて手繰り寄せ、木の实が取れました

子供との「距離感」に注目してみましょう。子供の力を信じ、温かく見守ることが大切です。いろいろな方法で試行錯誤し、動いたり、考えたりできたのは、これまでの成功体験の積み重ねなどを通して、「自分ができる」という自信や、諦めずにやりぬく力などが育っているからです。こうしたかわり方のポイントは、幼児だけではなく、どの年代の子供たちにも共通するものです。

乳幼児教育支援センター 幼児教育アドバイザー

＼ 気付いて実践ポイント! /

- 大人が必要以上に口出ししていませんか?
- 子供の意見を聞いていますか?
- 答えや結果をすぐに伝えていませんか?
- 見守りだけの心の余裕がありますか?
- 成功体験と一緒に喜んでいませんか?

遊びは学び ダンゴムシが大好きな子供たち。そのときどうする?

- 感じる・気付く力** 公園でダンゴムシがよくいる場所を見つけ、捕まえています
- 考える力** おなかに白いものがあり、ダンゴムシの赤ちゃんが動き始めます
- 感じる・気付く力** 新しい命が生まれる瞬間に出会い、命の尊さや神秘を感じます
- 人とかかわる力** 本当に卵があったことへの驚きや喜びをみんなで共有しました

子供との「共感的なかわり方」に注目してみましょう。子供たちがどうしてこんなに夢中になっているのか、子供の視点や気持ちに共感し、一緒に興味を持ってみるのが大切です。大人の共感的なかわりが、子供の好奇心やもっと知りたいという意欲の育みを支えます。そこで生まれた「探究の芽」は、小学校以降の学びへもつながります。

乳幼児教育支援センター 指導主事

＼ 気付いて実践ポイント! /

- 子供の視点に気持ちを重ねていますか?
- 子供の発見や感動に共感していますか?
- 子供の気づきを大切にしていますか?
- 自分で調べる環境がありますか?
- 大人の都合で探究の芽を摘んでいませんか?

広島県教育委員会乳幼児教育支援センターの取組

① 園・所等における教育・保育の充実

園・所等での勤務経験が豊富な幼児教育アドバイザーの訪問や、教員・保育士の資質向上に向けた各

種研修を行っています。

② 幼保小連携・接続教育の推進

小学校に入学した子供たちが、乳幼児期の育ちと学びを基礎に、安心感を持って新しい生活に円滑に移行し、自己を発揮し成長していけるよう、園・所等と小学校の接続カリキュラムの充実や合同研修を行っています。

③ 家庭教育の支援

県内全ての保護者に、家庭教育に役立つ情報の提供や、親子の学び・集いの場の提供、地域による親子支援の取組を行っています。



New!

「遊びは学び」をもっと詳しく知りたい方は、右のリーフレットをご覧ください。



詳しくはこちら

